

いわて文化共創フォーラム

少子高齢化と人口減少が進むいま、暮らしの土台（生活・文化・教育・福祉・交通・産業）をどう保ち直し、次世代へ手渡すか。文化政策にも、「単発から循環へ」「個別から横断へ」の転換が求められています。

本フォーラムでは、岩手県内市町村の文化政策の現在地を見渡し、文化的関係人口を育み、地域に活力を呼び込む視点から、滞在制作を核としたアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の実装可能性をともに考えます。

岩手県の文化政策概況と 地域と歩むアーティスト・イン・レジデンスのはじめかた

【13:30~14:20】
報告会
岩手県内市町村における文化政策概況とAIR導入の可能性

岩手県内市町村の文化政策概況を広域振興圏（県央・県南・県北・沿岸）ごとの分析結果のほか、地域におけるAIR導入の可能性（岩手県版）研究会による事例調査結果や岩手県で想定されるアーティスト・イン・レジデンス導入のモデル等を報告します。
■事例報告：河野桃子、坂田雄平

【14:30~15:20】
トークセッション
「地域で取り組むアーティスト・イン・レジデンス〜県や広域での役割〜」

人口減少・少子高齢化など、地域の変化を受けて取り組むべき今後の文化政策（自治体の役割など）について考えなければなりません。
先進的な地域文化政策に取り組み長野県で信州アーツカウンシル東京アーツアカデミー調査員。14年より（公財）沖縄県文化振興会・沖縄アーツカウンシルでプログラムオフィサーとして活動し、並行して舞台芸術の企画制作や国内各地の芸術系に参加。18~22年は長野県文化振興会コーディネーターとして文化施設推進と支援に携わる。全国小劇場ネットワーク理事、舞台芸術制作者オープンネットワーク理事。22年より現職。
■登壇：野村政之（信州アーツカウンシルゼネラルコーディネーター）、坂田雄平／進行：河野桃子

プログラム

前半は、広域振興圏ごとの文化政策の現状を把握しながら、全国事例をもとに、岩手に適した導入モデル等について方向性を報告。

後半は、先進事例に取り組む実務者とともに、官民が役割を分担し合う“協働”の視点から、これからの地域文化政策の進め方を議論します。現場の実情を踏まえ、既存の枠組みをいかにしながら、次へつながる“はじめての一步”を考えます。

対象（参加無料）

自治体の文化や地域づくり担当職員等、公立文化施設職員等、文化芸術関係団体、地域づくり団体関係者、アーティスト・イン・レジデンスに関心のある方など、幅広くご参加いただけます。

2026
2月19日 木

13:30→15:30（開場20分前）

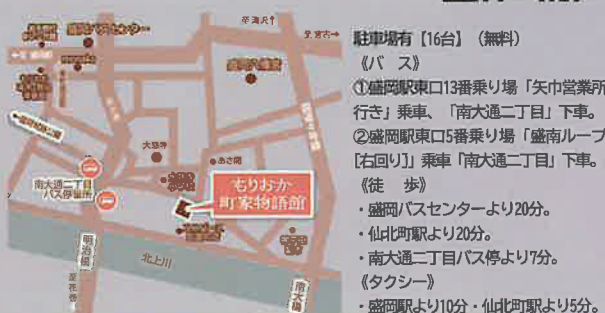
もりおか町家物語館 浜藤ホール

〒020-0827 岩手県盛岡市起爆町10-8 (019-654-2911)

お申込み【締切：2月12日（木）17:00】
こちらのQRコードよりお申し込みください。



メールでのお申し込みはこちらまで: info@iwate-arts.jp
記入事項: ①所属/役職 ②氏名 ③メール ④電話



駐車場有【16台】（無料）

《バス》

①盛岡駅東口13番乗り場「矢巾営業所行き」乗車、「南大通二丁目」下車。
②盛岡駅東口5番乗り場「盛南ループ[右回り]」乗車「南大通二丁目」下車。

《徒歩》

・盛岡バスセンターより20分。
・仙北町駅より20分。
・南大通二丁目バス停より7分。
《タクシー》
・盛岡駅より10分・仙北町駅より5分。



IWATE
ARTS
SUPPORT
CENTER



トークセッション

登壇者 Speakers



野村政之（信州アーツカウンシルゼネラルコーディネーター）

1978年生まれ。公共ホール、民間劇場、劇団制作部を経て、2012~13年にアーツカウンシル東京アーツアカデミー調査員。14年より（公財）沖縄県文化振興会・沖縄アーツカウンシルでプログラムオフィサーとして活動し、並行して舞台芸術の企画制作や国内各地の芸術系に参加。18~22年は長野県文化振興会コーディネーターとして文化施設推進と支援に携わる。全国小劇場ネットワーク理事、舞台芸術制作者オープンネットワーク理事。22年より現職。



坂田雄平（NPO法人いわてアートサポートセンター/トランジット・アーツ・ラボ代表）

宮古市市民文化会館のプロデューサーとして劇場運営、社会共創文化広場としてアーティスト・イン・レジデンス、教育普及、文化観光、調査研究事業を所管。その他、岩手県文化芸術コーディネーター、（一財）地域創造「公共ホール現代ダンス活性化事業」コーディネーター、三陸国際芸術祭ディレクターを務める。2003年に桜美林大学パフォーマンス・アーツ・インスティテュート、07年より財団法人地域創造、12年より北九州芸術劇場を経て、17年より現職。

進行



河野桃子（編集者・ライター）

大学で演劇・舞台制作を専攻。報道メディア・雑誌編集などを経て、現在は舞台芸術分野のライター・編集者。公演記事やパンフレット制作のほか、公立文化施設やフェスティバル、アクセシビリティ支援などの取材・執筆・広報に携わる。国際演劇祭や欧州文化首都の派遣や取材、日本舞台芸術ネットワークによる「日本の演劇」未来プロジェクトをはじめ舞台芸術関連事業の報告書作成、CoRich 舞台芸術まつり / 調査員等を務める。

令和7年度岩手県文化芸術コーディネーター研修解決支援事業

主催：岩手県、NPO法人いわてアートサポートセンター、地域におけるAIR導入の可能性【岩手県版】研究会【主催：トランジット・アーツ・ラボ/公益財団法人セゾン文化財団助成事業】
NPO法人いわてアートサポートセンター 〒020-0874 岩手県盛岡市南大通一丁目15-7 盛岡南大通ビル3階 TEL.019-656-8145 / FAX.019-656-8146